

令和7年度 第2回学校運営協議会

日 時：令和7年7月16日（金）10:20～12:30
場 所：山梨県立ひばりが丘高等学校 視聴覚室

（司会：教頭）

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 校長あいさつ
- ③ 会長あいさつ
- ④ 学校より
 - ア 令和7年度創作授業について（生徒会）
 - イ 令和7年度総合的な探究の時間について（進路指導）
 - ウ 令和7年度求人の状況について（進路指導）
- ⑤ 意見交換（進行：会長）
- ⑥ 諸連絡（副校長）
- ⑦ 閉会の言葉（司会）

※ 今後の予定

第3回学校運営協議会 8月28日（木）

第4回学校運営協議会 1月30日（金）

* 令和7年度第2回学校運営協議会出席予定者

●学校運営協議会委員（順不同）

元ひばりが丘高校校長	内田 大介	様（本会会長）
下宿連合自治会長	矢崎 政美	様（本会副会長）
都留文科大学特任教授	佐藤 比呂二	様
富士吉田市立明見中学校校長	加々美竜也	様
富士吉田市立教育研修所所長	林 龍樹	様
富士吉田商工会議所直前会長	赤池 優樹	様
富士吉田市社会福祉協議会事務局長	白須 美行	様
ひばりが丘高校P.T.A会長	藤江 康弘	様
ひばりが丘高校校長	小林 久美	
ひばりが丘高校進路指導主事	坂本 洋子	

●本校関係者（上記の委員を除く）

副校長 教頭 事務長 生徒会主任

*第3回学校運営協議会 令和7年8月28日（木）13:50～16:30
・今回、別紙にてご案内しております。

第2回学校運営協議会 議事録

司会：教頭

① 開会の言葉（教頭）

② 校長あいさつ

- ・創作授業を見ていただき感謝申し上げます。
- ・創作授業から改めて最近の子供達は本校に限らず実体験が少なく、これは私たちの世代が子供達に味噌造り等、実体験を見せてないからだなと感じました。
- ・実際に生徒が手を動かして、目の前の材料等を使いながら作業をし、教員とは違う年長者から教わっている姿に、笑顔が見られ、とても良かったと感じました。
- ・創作授業等、ご助言をいただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

③ 会長挨拶

- ・ご多用のところご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ・2回目ということで、広く委員の皆様よりご意見を頂戴したい。
- ・創作授業を見学させていただき、校長の話にもありましたが、実体験の乏しい年代層であり、本来であれば学校教育ではなくて家庭教育の中で子供達は学んでいくべきものでありますが、それが今非常に厳しくなっている事だと思う。
- ・創作授業の体験が今後の生徒の中でどこかで生かされていくかが課題であり、発展性を持っていけば成長の一助になると思うが非常に難しいことで、どうしても効率を求められる世の中で創作授業の内容がどのように生かされていくのかを考えさせられた。

④ 学校より

- ア 令和7年度創作授業について（生徒会）
- イ 令和7年度総合的な探究の時間について（進路指導）
- ウ 令和7年度求人の状況について（進路指導）
- ・各担当より資料に基づき説明

⑤ 意見交換（進行：会長）

（会長） 本日の議題は創作授業、総合的な探究の時間、求人状況について、それぞれご意見、ご感想をいただき、最後にその他でご自由な意見等をお願いしたい。まずは創作授業について、ご意見ご感想のある方は挙手をお願いしたい。

（委員） 毎回良い授業を見せていただきありがとうございます。もの作りですが、とっても大事な活動だと思いながら拝見させていただいた。目的が第1～第2～第3段階と進んでいくようですが、それはスパイラル状に進んでいくものだと思う。もの作りにおいて成し遂げる達成感は格別なものであると思う。ゲームのような刹那的な達成感もあると思うが、皆で力を合わせて棚を作り上げ老人ホームに寄贈したりすることの達成感の方が心に残り続けるし、生きていく上で困難にぶつかったときにそこに立ち向かっていくエネルギーになると思う。最近のSNSや動画等を目にする機会が多くなってきたが、創作授業での生徒の取り組む様子を見ていると、集中する心地良さのようなものを実感したことは大事なことだと思う。絵手紙作業

の中で講師が「下手でいい、下手がいい」という指導があったが、自己肯定感や自分らしさというものを感じることができ、失敗してもいいというような指導も「あなたしさ」を認め、唯一無二のあなたしさを伝えるメッセージにもなった。ある先生が、「ものづくりは自己中心性をそぎ落とす」なんて表現されたが、自分の中で折り合いを付けていくという経験ができるものだと感じている。ものづくりの経験の乏しい子供達にとって、とても意義のある素敵な授業を見せてもらいました。

(委員) 子供達の笑顔や楽しそうな姿が見られ、非常に良い機会であったと思う。私自身も子供の頃に家庭でものづくりを行った経験があまり無く、ジャガイモ作りを小学校の時に学校菜園で行った記憶ぐらいで、それ以来農業に関わったこともない状況である。芸術であるとか普段使わない感性を引き出してくれる機会は、心のゆとりができ、感覚で触れ合う非常に良い機会だと感じた。絵とか陶芸は、心の現れが作品に出てくるように思う。創作授業のそれぞれの内容は、生徒から希望を取ったテーマで分けたのでしょうか？

(生徒会主任) 生徒から希望を取ったのではなく、各年次ごとに1・2年次は切り絵、絵画、絵手紙、かご作り、陶芸、染め物、3年次は刻字、4年次は木工と各年次とジャンルを決めておき、その中で1・2年次は生徒が希望した内容に取り組んでいます。

(委員) 私は商工会議所青年部で100社を抱えており、染め物等で協力できると思う。

(委員) 子供達の生き生きとした活動を見ることができた。義務教育現場に身を置く立場から見ると、少人数であり手厚く指導を受けることができ、生徒達は幸せなんだろうなと感じた。創作授業は取り組む選択肢も多く、自分が希望して体験し学べる点や、講師の指導を身近に受けるという点が、非常に恵まれていると思う。そこで3点質問させていただく。一つ目は、生徒数が更に少ない夜間部生徒への創作授業の対応はどうやっているのか？二つ目は、スマホを活用しての授業参加や使わなくてもスマホを机上に置いている場面を見かけた。小中学校では本来あり得ないが、昨今、校則が見直しされている中で学校で規制していた部分について、自制し自分自身が責任を持ってという方向に動いている要素があると思うが、学校のルールがどうなっているのか？三点目は、創作授業の目的として他者との協働、協調があつたと思うが、個人で打ち込む部分と一緒に和気藹々と取り組む場面があるが、外部の講師にその授業の目的をどのように伝え、子供達にどのように意識して指導しているのかを具体的に伺いたい。

(生徒会主任) 一つ目の質問ですが、夜間部については人数も少ないので年次ごとに題目を決めて実施しています。

(副校长) 二つ目の質問ですが、授業中はスマホ禁止になっております。現在1人1台端末が前年度に入りましたので基本的にはそれを活用しています。例えば「よのなか科」の授業においては、スマホを積極的に使っております。授業の内容によっては担当教師の判断で使用を認めていますが、基本的に授業中の使用は禁止しております。

(副校长) 三つ目の質問ですが、講師には長年継続して指導をしていただいており、今回初めてクラフトのかご作りが加わりました。長年ご指導をしていただいておりますので、本校の趣旨等をご理解いただき指導していただいております。

(会長) 創作授業に関しては、以上で意見交換を終わりにします。委員から出た意見を学校運営の参考にしていただきたい。

(会長) 次に総合的な探究の時間について、ご意見等ありましたらお願ひします。

(委員) 授業、プレゼンテーションを拝見させていただく中で、本校が地域と共にある社会に開かれた教育課程の実現というところで、時代が要請されているところに少人数ではあるが特色ある取り組みをされていることを感じた。年間計画の中に、大きく2つの柱があると読み取れた。1つは、キャリア教育の視点、もう1つは純粋な地域課題に対してどう捉えてその解決のために調査や文献等で調べその解決方法を1つにまとめ、プレゼンテーションしていくという一貫した取り組みを見て取ることができ、総合的な探究の時間の特色を読み取ることができた。キャリア教育の視点で考えた時、子供達が本校で学んだことが高校卒業後の即戦力になる力を培っているというところと、同時に教科横断的なところや生産加工販売という点で、うどん部は特色があるところだと感じた。商工会議所の青年部から学校の目的達成のために本協議会の委員から時間と場所を提供し力を貸していただけることは、本協議会の良いところだと感じた。私の勤務する中学校のCSでよくお願いするのは、学校運営協議会所属校のために何ができるのか、また、何を期待するのか次のCSの会議でご意見をいただきたいと考えている。そういったことができるところがCSの意義ではないかと思う。本日は見学させていただきありがとうございました。

(委員) 創作授業について、子供達が笑顔で集中的に取り組んでいる姿、顔を見ているだけで私も嬉しくなった。私の勤めている会社でも社員の子供が工場見学するというものがある。子供も普段見慣れていないものを見ると目が輝いてきて、ものを作ることに対して目が輝いてくるところが見られ、子供達の集中力の凄さのようなものを今回学ばせていただいた。親としては、これから子供が成長するために、この学校で学ばせていただけるということを考えながら見学させていただいた。

(会長) 率直な感想で大変参考になりました。

(委員) 今まさに参院選の真っ只中で18歳から選挙権が得られるわけだが、大人になってから投票を学ぶというような機会はなかなか無いと思う。本校でそれを学ぶようなプログラムはあるのか?

(副校長) 現代社会や政治経済の授業の中で扱っております。学習指導要領の中にも政治に関する内容は位置付けられております。その中で生徒に対して指導しております。県教委より国政選挙がある機会には3期に分けて生徒に呼びかけるよう通達がされていて、本校でもそれを実施しており、図らずも本日2回目の、そのような放送を流したところでございます。

(委員) 昔、商工青年会議所に在籍していた頃は、「選挙に関するプログラム」があったが好評であった。これは政党の公約等を理解するための内容のもので、選挙について理解する機会があったが、今は投票について学ぶ機会がないが、生徒達には自分で考えて自分達の未来がどうなるか想像して投票してほしい。

(会長) 最後に、進路の内容についてご意見等ありましたらお願ひします。

(進路主事) 700近い求人数が現在ございます。今後まだまだ増えていくと思います。どの会社も人手不足で、近隣の高校では就職指導から進学指導にシフトしている状況がございます。

(委員) 本日は見学をさせていただき、ありがとうございました。私は他の委員さんと違って教育界に身を置くものではないので、自分の実体験と自分の子供が小中高大と進学していることを踏まえた中での意見になります。創作授業を見させていただき、今の高校生は、こういうものに目を向けていく時代なんだな、と感じた。私たちの高校時代は生徒数も多く先生の言うことは絶対であり、子供が自由勝手に振る

舞い、子供の中でルールができて、そこで人間関係ができて部活動等で上級生と下級生の上下関係が築かれた良い時代でした。時代背景と共に上意下達的な世界は人格形成に良くなかったり、社会問題になったりという時代になり、「苦しかったら逃げていいんだよ」というような自己尊重の時代になった気がする。私自身が追い詰められた経験がないからかもしれないが、当時は「安易に逃げることは良くないよ」と教わり体験してきた時代だったので、ギャップを感じたとも言える。自己の確立というものは完成品を求めるものではなく、先を見通し余裕を持ちながら新しいことにチャレンジしながら成長していくのではと思いながら、創作授業を見させていただいた。進路に関する質問ですが、求人について子供達の職種希望を取っているんですか？

(進路主事) まず、生徒は職種にどんなものがあるか把握できておりません。職種のイメージと現場の様子が分からぬところがございます。動画やパンフレットを見せたり、職場のガイダンスを行ったり、実際に現場を見せてもらって職種を意識させますが、就職に対する意識も、その時に直面し実感として現実的に考えるようになるのが実態です。求人の多い職種は、運送、製造、サービス（宿泊・観光業含む）等の職種が目につきます。大卒を探っていた会社が、世代交代を視野に入れ高卒を探って育てていくという方向に変わってきています。

(委員) 昔は親の仕事を引き継ぐというものが多かったように思います、今は情報がたくさんあるので、就職についても学校の指導の大変さを察します。ご苦労様です。

(会長) 各委員より意見を頂戴しましたが、今日の3つのテーマを通じて私が感じたのは、それぞれの教育活動によって本校の生徒達が地域の活力として育っていくよう、或いは地域がその子供達を支えていけるようにしていくことが本校の教育の軸になっているように感じました。本校の教育が、卒業後に生きていく術になっていって欲しいと思います。今後のコミュニティースクールの方針とし、学校評議会とは違った学校運営協議会委員のネットワークとお知恵、お力添えをいただきたいと思います。

⑥ 諸連絡（副校長）

本校生徒が図案化した創立20周年記念のクリアファイルの進呈と次回開催予定の連絡

⑦ 閉会の言葉（教頭）